

講座

# ラクスエーター2を使ってみたら!

「歯医者ofの杜」クリニック(埼玉県越谷市開業)

森 俊道  
三宅 梨恵

〒343-0831 埼玉県越谷市伊原1-4-1 西友蒲生伊原店内1F

「日本歯科評論」2004年12月号に、臨床理工講座のシリーズとして、「新しい抜歯用器具ラクスエーターについて」と題する拙文を掲載させていただきました<sup>1)</sup>。ラクスエーターは「短時間で確実に抜歯を行うツールとして欠かせない器具」になっています。その有用性を紹介するために臨床例を供覧し説明させていただきました。また、臨床使用上の注意点についても触れました。

さて、今回「ラクスエーター2」に更新されたという情報を得まして、早速入手して使用しました(図1)。「評論」に、「次第に『入り』が悪くなるので、シャープナーで砥ぐことは重要」と書きました。全くその通りなのです(図2)。新しく入手した「ラクスエーター2」は鋭い嘴部の刃によって大変「入り」が良く、「使用方法を誤ってはいけない」と改めて感じました。

「ラクスエーター2」における主な変更点は、グリップ(把柄)の部分のデザイン・形状です。材質はポリエーテルイミド(PEI)で変わらないようですが、全体をライトグレーで統一し、線状突起が付きしました(図3)。突起の色が嘴部の形状の違いを示しています。この突起は、抜歯術施術の際にはグリップの滑り止めになるようです。まだそれほど実感していませんが、使い心地は良好です。

また、グリップから出る軸部(支柱)の根元に型番が刻み込まれました(図4)。これは便利(!)型番の数字(2,3または5)は「刃のサイズ(mm)」を示し、アルファベットは、それぞれS:ストレート、C:カーブ、CA:コントラアングル、およびIC:インバートカーブを示しますので、一目瞭然です。



図1

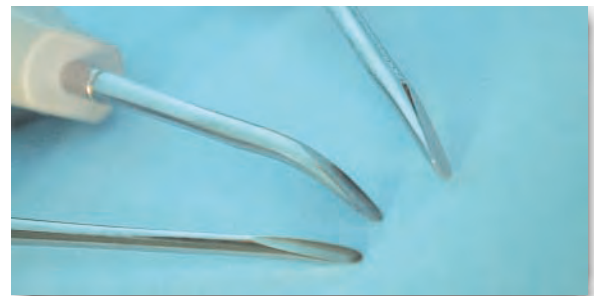


図2



図3



図4

症例を供覧します。なお、各口腔内画像等は、口腔内カメラ「クロスカム」を用いて撮影しました<sup>2)</sup>。

## 症例 1



図 5-a



図 5-b



図 5-c



図 5-d

下顎左側第3大臼歯の抜歯です(図5 a - d)。ラクスエーターL-5Sを近心頬側の歯根膜にゆっくりと差し込むと、次第に歯牙が上がってきました。

## 症例 2



図 6-a



図 6-b



図 6-c



図 6-d



図 6-e



図 6-f

上顎右側第一小白歯の抜歯です(図6 a - f)。ラクスエーターL-5Sを近心頬側から口蓋側に歯根膜を切る感覚でゆっくり差し込むと、「すっ」と歯牙が上がってきました。

「ラクスエーター2」の一刺しで、歯周靭帯を鋭く切って抜歯が行えます。「ラクスエーター2」7本セットには、嘴部の形状、刃のサイズが異なったタイプのもので、その嘴部の細さゆえ、どれかのラクスエーターが必ず歯根膜空隙に入ります。とにかく空隙に楽にそして素早く正確に入りますので、予定している診療時間内に必ず抜歯処置を終了できます<sup>3)</sup>。

したがって、ラクスエーターは、periodontal ligament knifeあるいはperiodontal membrane knife(歯根膜ナイフ)という新しい抜歯器具です。「評論」の繰り返しになりますが、ラクスエーターの適切な使用

方法として、歯牙長軸方向に対し真っ直ぐに挿入していくことが大変重要です。反面、急いで脱臼しようとするすると周囲組織の損傷、歯槽壁の破折を引き起こす恐れはあります。しかも簡単に損傷しますので操作には十分な注意が必要です。力任せに抜歯をしようとせず、この2症例のようにゆっくりと歯根膜空隙に差し込む方が良いと思います。それほど鋭い刃部ですので、しっかりとした固定が重要と考えています。

### 文 献

- 1) 森 俊道, 三宅 梨恵: 新しい抜歯用器具「ラクスエーター」について. 日本歯科評論, 64 (12): 119-124, 2004.
- 2) 森 俊道: 口腔内カメラ「クロスカム」の活用. Dental World, 8: 3-5, 2004.
- 3) 森 俊道: ラクスエーターを使ってみたら. CrossField News, 4: 8-9, 2004.